学校番号	327

令和８年度　芸術科（普通科）

教科	芸術	科目	音楽演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野にわたって年間を通して学習します。
・学習の到達度は、ファイル（授業で配付するプリント等を挟む)、実技テストで評価します。
・音楽の学習は、仲間とともに工夫しながら練習し、全体で一つのものを作りあげます。そうして技術だけでなく、責任感、協調性、感性等、様々な力が身につきます。
・音楽が生涯に渡り、ずっとみなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
音楽の幅広い活動を通して、音楽のよさや美しさなどを感じ取って、そこに価値を見いだすことのできる感性を育てる。
【思考力、判断力、表現力等】
音や音楽を知覚・感受して、思いや意図をもって表現したり、味わって聴いたりする過程で、創造的な表現の力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】
音や音楽と文化的・歴史的背景、生活や社会との関わりについて考え、音への関心を高め、積極的に授業に取り組む生徒の育成。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景等との関わり、及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、表現している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	音楽の表現活動の喜びを味わい、多様な表現方法や音楽文化に関心を持ち、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	発声の基礎を学ぼう	【歌唱】 「校歌」 ポップス、日本歌曲、英語の歌等 文化祭に向けての音楽選択者による合唱曲	a:【知】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 【技】姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 b:親しみやすい歌や校歌のリズム、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うかについて表現意図を持っている。 C:音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	プリント 観察 発表	プリント 観察 発表	観察 プリント 発表 振り返りレポート

	楽器の基礎を学ぼう、伴奏を創意工夫してみよう	【器楽】【創作】 ギター、電子ピアノ 伴奏創作	a:【知】楽器奏法、理論の知識を持ち、それらを組み合わせ理解して演奏、及び創作をしている。 【技】正確に演奏し、表現を意識して演奏する技能を身に付け、演奏で表している。 b:曲の形式を理解し、リズム組み合わせることによってさまざまな表現ができることを感じ、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように演奏かについて表現意図を持っている。 C:音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽・創作の学習活動に取り組もうとしている。	プリント 観察 発表	プリント 観察 発表	観察 プリント 発表 振り返り レポート
2学期	世界の様々な音楽を知ろう！	【歌唱】 ドイツ語、イタリア語 等の英語以外の原語曲 3部合唱 【鑑賞】 「日本の伝統音楽」 オペラ･ピアノ曲等いずれか	a:【知】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 【技】姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。 C:主体的・協働的に歌唱・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	プリントト 観察 発表	プリント 観察 発表	観察 プリント 発表 レポート

	アンサンブルをしよう	【器楽】 ギター、電子ピアノ、鍵盤楽器、打楽器等	a:【知】各楽器奏法、音楽理論の知識が身についているか。曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。C:主体的・協働的に器楽・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	プリント 観察 発表	プリント 観察 発表	観察 プリント 発表 レポート
3学期	全員で舞台を作ろう！	【歌唱】【器楽】 卒業演奏会	a:【知】曲想と歌唱、楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。【技】創意工夫を生かした歌唱、器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱・器楽表現を創意工夫している。C:主体的・協働的に歌唱。器楽の学習活動に取り組もうとしている。	プリント 観察 発表	プリント 観察 発表	観察 プリント 発表 練習進度表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度